

1 単元名 学習のまとめ 『アジアの仲間』

2 目標

- 今までの学習してきたことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。(関心・意欲・態度)
- 文字の大きさや字配りに気をつけて、書くことができる。(知識・理解、技能)
- 自分の課題に合っためあてをもち、練習用紙を自作したり選んだりすることができる。(思考・判断)
- 硬筆の学習以外でも、漢字や仮名の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもつことができる。(日常化)

3 指導計画(関連単元:全5時間〈書写:全3時間〉)

時数	学習内容
1(学活)	『高齢者への絵手紙をかこう』
2(図工)	『絵手紙の絵を描く』
3~5(書写)	『アジアの仲間』 第1時 今まで学習したことを生かして、自分のめあてを決め、めあてに気をつけて書く。 第2時 文字の大きさや字配りに気をつけて書く。 第3時 毛筆で学習したことを生かして、お年寄りへの手紙を硬筆で書く。 (本時)

4 指導上の立場

- 本単元は、第5学年及び第6学年の内容(2)「ア用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。」を受けて設定されている。普段の字形や配列を見直したり、文章を書く目的や相手を意識したりすることに重点を置き、今まで学習してきたことを日常の書字活動に生かすことをねらいとして指導する。中心教材『アジアの仲間』は、初めて扱う六文字教材である。紙面に調和よく収めていくには、それぞれの文字の大きさや形、行の中心、間のあけ方などに注意を払う必要がある。児童一人一人の課題に応じた練習用紙を選ばせたり自作させたりしながら、字配りよく文字を書くことができるようにさせたい。また、児童が普段最もよく使う硬筆教材を3時目に設定し、学活「高齢者への絵手紙を書こう」と関連させることで、「手紙を書く相手」や「目的に応じた書く速さ」を意識しながら、日常の書字活動に生かすことができると考える。既習事項を学び直し、自分のめあてを選択しながら、主体的に学習に取り組むことに適した題材である。
- 本学級の児童は、普段の書写学習やノート等で見られる書字活動の傾向として、丁寧に文字を書こうとする児童が多い。また、手紙を書く際には、手紙を送る相手を意識しながら、より丁寧に文字を書こうするなど、文章を書く目的や相手を意識しながら書字活動をすることができるようになってきている。しかし、手紙や日記、授業のノートなどを見ると、漢字よりも平仮名が大きくなったり文意に関係なく段落を変えたりする児童が多く、配列を整えて書こうとする意識は低い。漢字や仮名の大きさや文字の中心に気をつけて配列よく書くことの大切さに気付かせながら、日常の書字活動に生かしていこうとする意欲を育てていきたい。
- 本校の研究テーマ「基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ子どもの育成—自ら学び、生活に生かす書写学習—」に迫るために、次のような工夫を行う。
 - ・動画コンテンツを見せ、書く速さに気付かせたり、透明シートを用意して、字配りを確認できるようにしたりする。また、姿勢や筆の持ち方をこまめに確認し、「正しい姿勢や持ち方」を意識して書字活動ができるようにする。
 - ・配列よく書くためのポイントを確認できたり学習カードを工夫したりすることで、自分の課題に合っためあてをもって学習を進めることができるようにしたい。
 - ・まとめ書きをした後、めあてに沿って自己評価をしたり、グループでお互いの作品を見合ったりする場を設けることにより、自分の伸びを知ったり友達のがんばりを認めたりすることができようにする。また、教師は、第1時に書いたまとめ書きや学活の時間に試し書きした手紙等から、児童一人一人の課題を把握し、児童がより適切なめあてをもって学習に取り組むことができるようにしたい。
 - ・単元の終末に学活「高齢者への絵手紙」と関連付けて、縦罫線の用紙に手紙を書く活動を設定する。毛筆で学習したことを実際の生活場面で用いようとする意識を高めたい。

5 本時案 (第3時)

目 標	<p>○自分の課題に合っためあてを決め、練習用紙を自作したり選んだりしながら練習することができる。</p> <p>○字形や配列を整えながら、相手を意識して手紙を書くことができる。</p>			
学習活動と予想される児童の反応	教師の支援 個への対応 (◆) 評価 (◇)		準備物	
	T 1		T 2	
<p>1 学習のめあてをもつ。</p> <p>・今日はお年寄りへの手紙を完成させるんだな。</p> <p>・お年寄りが読みやすい手紙を書こう。</p>	<p>・お年寄りへの絵手紙の用紙を提示し、本時が手紙を完成させる時間であることを伝える。</p> <p>・前時の学習を振り返りながら、手紙を書くためのポイントを確認する。</p> <div data-bbox="430 577 1013 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①配列 (余白・中心・文字の大小・字間・行間など)</p> <p>②字形や組み立て方 (「へん」と「つくり」・「かまえ」の中と外など)</p> <p>③筆使い (折れ・曲がり・そり・はらいなど)</p> </div>	<p>・字形や配列を整えることで、お年寄りが気持ちよく手紙を読むことができることや自分の気持ちを伝えることができることをおさえ、手紙を送る相手を意識して書くことができるようにする。</p>	<p>絵手紙の用紙</p> <p>手紙を書くためのポイント</p>	
<p>2 練習をする。</p> <p>・字形や配列に気を付けて書こう。</p>	<p>・手紙の下書き(試し書き)をもとに自分のめあてを決め、学習カードに記入するように指示する。また、同じ班の友達同士で、めあてを紹介し合うことで、自分の課題に合っためあてをもちやすくする。</p>	<p>◆手紙の下書き(試し書き)から、教師が児童一人一人の課題を把握しておき、課題に合っためあてをもちにくい児童に助言する。</p>	<p>学習カード</p> <p>教師の評価をまとめた表</p> <p>練習用紙</p>	
	<p>・中心線や書き出しの文字等を記した練習用紙を用意し、めあてに合った練習ができるようにする。</p> <p>・自分のめあてが達成できるように、練習用紙を自作して練習する。</p> <p>◆字形の整いにくい児童には、書き方の例(お手本)を示したり、助言したりする。</p> <p>◇自分の課題に合っためあてを決め、練習用紙を自作したり選んだりしながら練習することができる。(思考・判断/学習カード・観察)</p>			<p>お手本</p>
<p>3 まとめをする。</p> <p>・字形や配列に気を付けて書けたな。</p>	<p>・自己評価、相互評価をする場を設け、自他の伸びを認め合えるようにする。</p> <p>◇字形や配列を整えながら、相手を意識して手紙を書くことができる。(技能/学習カード・まとめ書き)</p> <p>・めあてに沿って上達した児童を称揚し、普段から丁寧な書字活動ができるように意識付ける。</p>	<p>・自分のめあてに向かって工夫して練習してきたことを称揚し、心を込めて書くことを確認する。</p>	<p>絵手紙の用紙</p> <p>教材提示装置</p>	
<p>4 日常生活に生かす。</p> <p>・これからも、読む人のことを考えて文字を書いていこう。</p>			<p>・本の一節を紹介し、日常生活でも相手を意識して書こうとする意欲をもつことができるようにする。</p>	